

JC3 FORUM2023

サイバー犯罪の特定・軽減・無効化

基調講演

「サイバー攻撃被害に関する情報の共有・公表の意義と課題」

東京都立大学教授 星 周一郎 氏



《講演概要》

サイバー攻撃被害に関する情報の適切な共有・公表は、さらなる攻撃被害の防止等にとって非常に有益ですが、他方で被害者・被害組織の保護の必要性などの観点も重要であるため、被害組織として適切な対処の判断が困難となることも少なくありません。NISC・サイバーセキュリティ協議会で開催された「サイバー攻撃被害に係る情報の共有・公表ガイダンス検討会」での議論を踏まえ、この問題への対応のあり方を探っていきたいと思います。

時間	タイトル	講演者
13:30～	開会ご挨拶	日本サイバー犯罪対策センター 代表理事 堺 和宏
13:35～	基調講演 サイバー攻撃被害に関する情報の共有・公表の意義と課題	東京都立大学 教授 星 周一郎
14:15～	中小企業におけるリスク意識・対策実態調査について	一般社団法人日本損害保険協会 業務企画部 課長 井川 文作
14:35～	加速する人材争奪に伴う最近の脅威アクターの変遷（仮）	株式会社サイント 代表取締役 岩井 博樹
15:05～	休憩	
15:15～	トークセッション「偽ショッピングサイト対策 ～産学官連携による偽ショッピングサイト対策～」	情報セキュリティ大学院大学 准教授 橋本 正樹 トレンドマイクロ株式会社 シニアセキュリティスペシャリスト 嶋村 誠
15:55～	特別講演 警察におけるサイバー事案対策とJC3との連携	警察庁サイバー警察局 局長 河原 淳平
16:35～	閉会ご挨拶	日本サイバー犯罪対策センター 業務執行理事 櫻澤 健一

開催日時 2023年3月16日（木）13:30～16:40

開催形式 オンライン形式

参加費 無料

申込締切 2023年3月9日（木）

お申込みはこちら

<https://v2.nex-pro.com/campaign/49584/apply>

主催 一般財団法人 日本サイバー犯罪対策センター
後援 警察庁・サイバーセキュリティ戦略本部